

# act 15

art, culture, tradition

[発行] 札幌市教育文化会館

アクト

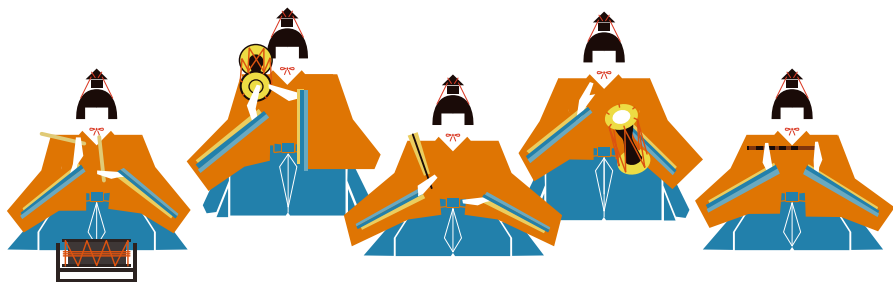
DECEMBER 2013

## Japan Traditional Music

[日本伝統音楽]



# 聴くほどに、 日本が深くなる。

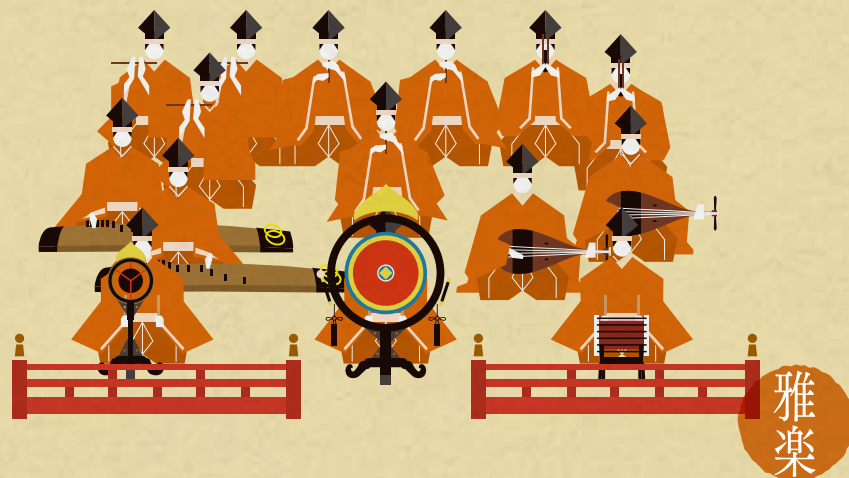


「その場の空気を読む」。いつもの会話のなかでも、普通に使われていることばです。ところが欧米にはこの「空気を読む」という文化がなく、それにあたることばも見あたらないそう。日本独特ともいえるこの「空気を読む」という文化、どうやらそうとう古くからあるようです。たとえば日本で1000年以上前から伝えられている雅楽は琵琶もあれば笛も太鼓もあり、総勢16人で演奏されます。欧米のオーケストラであ

れば指揮者が全体の取りまとめをしますが、雅楽では指揮者にあたる人はおらず、全員がお互いの呼吸や「間」を読んで演奏をするそう。その「間」を読む文化は雅楽以後も能楽の五人囃子の演奏方法など、さまざまな日本の伝統芸能に伝えられています。「間」以外にも、わたしたちが忘れかけている日本文化の良さがたくさん隠されている日本の伝統音楽。まずは気楽に聞きはじめてみませんか？

GAGAKU

## 世界最古参のオーケストラ



雅楽がいまのような音階、譜面、楽器などに決められたのは、およそ1000年以上前。その形式がほとんど変わることなく伝えられているという意味では、世界でいちばん古いオーケストラになります。もともとは日本の大昔からある儀式音楽と中国や東南アジアから伝わった音楽など様々なものがミックスされ、独自の音楽になった貴族由来の音楽です。

NOHGAKU

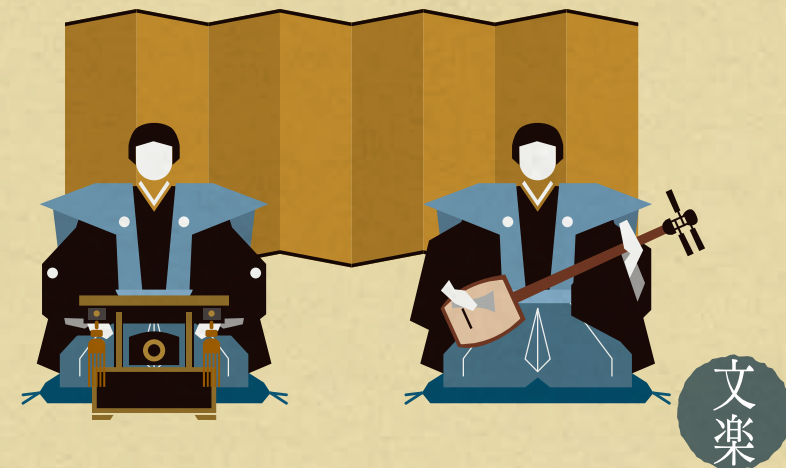
## 一期一会の バンドミュージシャン



謡(うたい)と舞(まい)からなる能楽に欠かせないのが、BGM担当の「囃子方」。ひな人形にも登場する謡・笛・小鼓・大鼓・太鼓の五人囃子で、たとえば小鼓は小鼓以外の楽器は担当しません。しかも練習は各パートのみで、合奏練習というものはなくお互いの力を本番で出しあって高めあうスタイル。一期一会の舞台を作り上げるミュージシャン、それが囃子方です。

BUNRAKU

## 音楽のようで音楽じゃない、 グルーヴユニット



つい人形に目がいってしまう文楽ですが、物語を語る大夫と三味線の浄瑠璃ユニットが合体して初めて「人形浄瑠璃」になります。大夫は歌うというよりも情景描写や物語の進行を伝える「語り」がメイン。三味線もメロディ演奏ではなく、人物の心情や物語性を表現する「音色」を作り出す役目。その二つのグルーブと、人形の動きがぴったり合って生み出される芸術作品なのです。

## 教文大使

コネ・クートくんのなんでも質問コーナー

# 日本の伝統音楽ってなんだろう？

市民と芸術をつなごう！と日々がんばる教文大使のコネ・クートくん。今回は日本の伝統音楽について教文のモノシリ博士に質問してみました。

みんなの代わりに質問するよ

日本の伝統音楽についてなんでも質問に答えますよ！



コネ・クートくん  
designed by ロケットデザイン



モノシリ博士

1

Q いまも聴ける日本のいちばん古い音楽って？

A いまも残っているという意味では1000年以上前から伝えられている「雅楽」になるね。そもそも雅楽は中国などから伝来した音楽を和風にアレンジしたものに、太古からあった日本の儀式音楽などをミックスしたものだだよ。

日本は取り入れてアレンジするのが得意だね。



ないはずの音をつくる！

## 歌舞伎SE(効果音)の技

歌舞伎の音響で特に面白いのは、舞台を盛り上げ、誇張するために作りだされた効果音の数々。効果音のCDはもちろん、スピーカーも音響設備もない時代に、歌舞伎の舞台では実に面白く効果音がつくられていました。存在しないはずの音や、普段聞き逃している物売りの声、通りの雑踏を繊細にとらえる日本人の感性を楽しむのも、歌舞伎見物の醍醐味です。

### 雪 「ドン、ドン、ドン、…」

低い大太鼓の音を一定の間隔で打ちます。よく日常の会話では「しんしん」と言いますが、舞台上に響く低音の大太鼓の音と静寂のあいだに、確かに雪の降るイメージがわいてきます。



### 深山 「ドロン、ドンドンドン…」

雲の上にそびえたつ、深い山を表現するために出す「山おろし」という音。大太鼓のこの音で、人知の及ばぬ山の雰囲気が不思議と感ぜられます。予期できない前触れなど、ドラマチックなシーンにも使用。



### 雨 「バラバラ、バラバラ…」

うちわに小豆大のビーズを糸でいくつも結びつけた「雨団扇」でつくこの音は、蛇の目傘など、ものに雨が当たっている音を再現したと言われています。リアルな雨音ではなく、雨がどのように聞こえるかという日本人の感性を表すような表現です。



### 幽霊 「ヒュー ドロドロドロー…」

TVなどでも聞くこの音の発祥は歌舞伎。わざと不安定に吹くヒューは能管、ドロドロは大太鼓が長バチで「薄ドロ」という技法で打ちます。いかにも火の玉が浮遊して、不気味な雰囲気が漂う、効果音の名作です。



## インタビュー 邦楽語り

## INTERVIEW

おばあちゃんから学生まで。隠れた魅力がまだまだあります。

箏(こと)や三味線、尺八などを使いたいわゆる邦楽は、実はかなりの数の人々に親しまれ、演奏されているんです。年配の方はもちろん、札幌市内の大学や高校にも邦楽を演奏する団体や部がいくつもあるので、若い方にも演奏者はけっこういます。日本の伝統音楽って、まず音色がとても優しく、安らぎを与えてくれるんです。激しい音楽だと好き嫌いも分かれていますが、この音色を嫌がる人はあまりいないのではないのでしょうか。そして、お稽古事として長く続けられるというのも素晴らしいと思います。和楽器は音をきちんと響かせること自体が難しいですし、音が出せても音色の追求をしていくと終わりがありません。50代60代でも若手といわれてしまうくらいです。尺八は禅の思想とも深く結びついていて、海外からも評価の高い楽器ですし、日本でもたとえばIT関係の人から人気があるんですよ。頭を使う仕事の方が、尺八を聴いたり演奏することで五感がひらいてリラックスできるんだそうです。最近は楽器もいろんなジャンルの音楽と合わせるようになり、世界が広がっています。演奏会は市内のあちこちで開催されているので、ぜひ一度、生演奏を聴いてみてください。



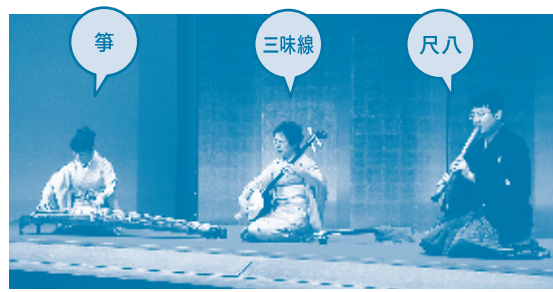
上野楽器店

上野 哲幹さん

明治30年から100年以上続く老舗の楽器店。邦楽演奏会のコーディネーターなども行う。

### 三曲 [箏(こと)・三味線・尺八]

日本の伝統音楽として現在も最も普及している「箏(そう)曲」といわれる箏(こと)、「地歌(じうた)」といわれる三味線、「尺八」、以上3種類の音楽の総称。それぞれ独立して演奏もされます。「箏曲」と「地歌」は、その演奏者が共通しており、そこに尺八を加えて演奏することを三曲合奏といいます。



箏

三味線

尺八

3

Q そうなんだ。ほかにはどんな特徴があるの？

A 西洋音楽とちがって、一定のテンポじゃないんだよ。「序破急」といって、ゆっくり始まって、徐々にスピードが上がって早くなるのが基本。このルールは音楽だけじゃなく能楽などの舞台にも影響しているんだ。

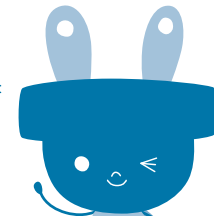


4

Q 楽譜はあるの？

A 印刷された楽譜としては世界最古とされる「声明集」(しょうみょうしゅう)があるよ。でも多くは口頭や師匠の演奏を耳で聴いて覚えるのがスタンダードだったんだ。秘伝の曲は一回きりの伝授ということもあったそうだよ。

お師匠が楽譜なんだ！

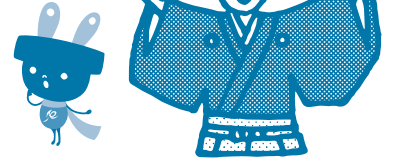


2

Q ほかにはどんな伝統音楽があるの？

A 地歌、箏曲、長唄、浄瑠璃などなどたくさんあるけど、それが日本の伝統音楽の特性でもあるよ。普通は新しいものが生まれたら古いものは消えていくけど、日本では無くならず、伝承され続けるんだ。貴族、武家、庶民ごとの音楽もそれぞれあるし、膨大な数があるんだよ。

バリエーションがたくさんあるよ！



5

Q 楽器はどんな特徴があるの？

A 吹きもの、弾きもの、打ちものに分かれるよ。西洋楽器とは違い、わざと均一の音が出ないようにして工夫がしてあったり、弦をこするような演奏方法を取り入れたりと、西洋的には「雑音」の部分も音楽とするのがおもしろいね。

【吹きもの】 雅楽は竜笛、祭囃子に欠かせない篠笛、能に使う能管、尺八と多種多様。

【弾きもの】 琵琶、箏、三味線など。単独でも芸能音楽としても使われる。

【打ちもの】 鼓、太鼓、など。動物の皮を使って締め上げ、音を調節する。

木や皮、竹の天然素材！



6

Q どこで聴けるのかな？

A 能楽や歌舞伎、人形浄瑠璃ではもちろん生演奏だし、舞台も一緒に楽しめるので、いちばんのおすすめ。箏・三味線・尺八が一緒に演奏する三曲という音楽は一般の人の習い事として普及しているので、演奏会がよく開かれているよ。



意外とある、音楽が由来のことば

## 和の音楽用語集

### どんちゃんさわぎ

大騒ぎすることの意味で、「どん」は太鼓、「ちゃん」は三味線の音を表している。

### やたらに

雅楽には「夜多羅拍子」という2つの拍子が混合する特殊な曲があり、難しい曲のため、弾いている人が必死になって演奏しているように見えることから。

### 打ち合わせ

雅楽から由来。管楽器、弦楽器、太鼓などのリズムを合わせるために打ち物を打って拍子を取ることを言う。

### ノリ

能楽の謡(うたい)のリズムのこと。平ノリ、中ノリ、大ノリと一定のリズムに乗せる時に使う。

### ろれつが回らない

雅楽の音階に呂(りょ)と律(りつ)の2つがあり、その2つを間違えると訳のわからない曲になることを転じて、うまく話せないことを指すように。

### どんでん返し

文楽では「ドン・デン・ドン・デン」という音を合図に、瞬間で場面を変えることから、立場が入れ替わったりすることを指すように。

### ドロロする

歌舞伎で幽霊などの登場や退場に使われる太鼓の音、「ドロドロ…」という音から転じて逃げる、いなくなるという意味に。

### ちゃんぽん

中国の銅鐘の音を「チャーン」と表現し、日本の鼓の音を「ボン」と表現することから、2つのものが入り混じった時に使うように。